

地震時の通電火災を防ぐ

■取付方法

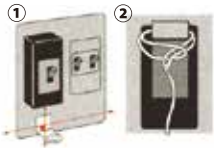
①金具に付いている両面テープのはくり紙をはがし、プレーカーの真下に（紐がたるむように）に取り付けて下さい。

(注) オモリを受ける面は水平にして下さい。

(注) 取り付ける面の油、ホコリ、水分をよく拭き取って下さい。

②プレーカーのスイッチの穴にオモリの紐の輪を通し（輪の先端に細い針金をつけて通す）、輪にオモリをくぐらせて結んで下さい。あとはオモリを金具にセットすれば完了です。

詳しいご使用方法は、内側の↑面に書いてあります



▲ 取扱上の注意

- ぬれた手で作業をしないで下さい。感電するおそれがあります。
 - 必ず作動テストを行って下さい。その時、OA機器等の電源は切ってください。ソフトが不良になるおそれがあります。
 - 金具（オモリ受け）のまわりに物を置かないで下さい。
 - 必ずオモリの落ちるスペースをあけて下さい。
 - 本製品はスイッチのレバーが上から下に落とすタイプに取付が出来ます。
 - 商品の加工を絶対にしないでください。事故・トラブルの原因になります。
 - スイッチのレバーに穴があいていないプレーカーのタイプには、ご使用出来ません。
- ※プレーカーの種類によっては、上記でも取付が出来ない場合もございます。
- 地震などによる破損や事故に対して保証は一切できません。
 - 本商品は震度5以上で作動する様、人工的なゆれで検査を行っておりますが、地震のゆれ方、大きさ、ゆれの方向により、震度5以上でも作動する場合としない場合があります。又、震度5より小さな震度でも作動する場合もございます。ご使用環境については同じ住宅地、同じ集合住宅等でありまして同じとは言えませんので作動状況に違いが出る事については、ご了承お願い申し上げます。
 - 本製品は耐震効果を得るのに「絶対的な商品」ではありません。十分にご理解して頂き、防災対策については自己責任の上でしっかり行って下さい。

■材質 オモリ:鉛 金具:ステンレスバネ材(SUS304) 紐:ポリエステル

N-2099



台紙



プラスチック



発売元 お問い合わせ先

株式会社 ノムラテック

〒544-0012 大阪市生野区箕西4丁目4番26号
TEL:(06)6756-7301 FAX:(06)6756-7311
URL <https://www.nomuratec.co.jp>



震度5以上の揺れが起こると

電源を遮断!

電源遮断装置

送電再開後の通電火災を防ぎます。

地震で怖いのは2次災害

東日本大震災の火災原因の多くは電気による火災です。



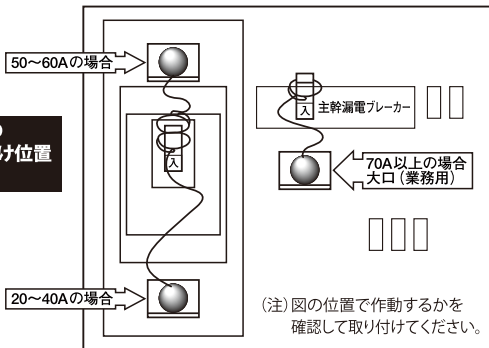
ここをcheck!



取付簡単 金具を両面テープで固定

要保管

ブレーカーへの オモリの取り付け位置 参考例



■ 取付方法

- ① ブレーカーのスイッチの穴にオモリのヒモの輪を通し(輪の先端に細い針金をつけて通す)、輪にオモリをくぐらせて結んでください。
- ② 取付金具(オモリ受け)をつける面(壁側)は、よく絞った雑巾で油污れ、ホコリなどをよく拭き、十分に乾かしてください。
- ③ 取付金具の面は水平にしてください。
- ④ 取付金具の裏面の剥離紙を剥がして取り付けてください。粘着面に手などが触れたり、貼り直しをしたりすると、粘着力が弱くなります。
- ⑤ 取付金具を取り付け面に十分に圧着してください。
- ⑥ 圧着後24時間ほど経過してから取付金具にオモリをセットしてください。
- ⑦ オモリが落下する位置に障害物を置かないでください。
- ⑧ いずれの場合(取付位置参照)もヒモをたるませて取り付けてください。

⚠ 取扱上の注意

- ぬれた手で作業をしないで下さい。感電するおそれがあります。
 - 必ず作動テストを行って下さい。その時、OA機器等の電源は切ってください。ソフが不良になるおそれがあります。
 - 金具(オモリ受け)のまわりに物を置かないで下さい。
 - 必ずオモリの落ちるスペースをあけて下さい。
 - 本製品はスイッチのレバーが上から下に落とすタイプに取付が出来ます。
 - スイッチのレバーに穴があいていないブレーカーのタイプには、ご使用出来ません。
- ※ブレーカーの種類によっては、上記でも取付が出来ない場合もございます。
- 地震などによる破損や事故に対して保証は一切できません。
 - 本商品は震度5以上で作動する様、人工的なゆれで検査を行っておりますが、地震のゆれ方、大きさ、ゆれの方向により、震度5以上でも作動する場合としない場合があります。又、震度5より小さな震度でも作動する場合もございます。ご使用環境については同じ住宅地、同じ集合住宅等でありまして同じとは言えませんので作動状況に違いが出る事については、ご了承お願い申し上げます。
 - 本製品は耐震効果を得るのに「絶対的な商品」ではありません。十分にご理解して頂き、防災対策については自己責任の上でしっかり行って下さい。